

新潟県

平成3年

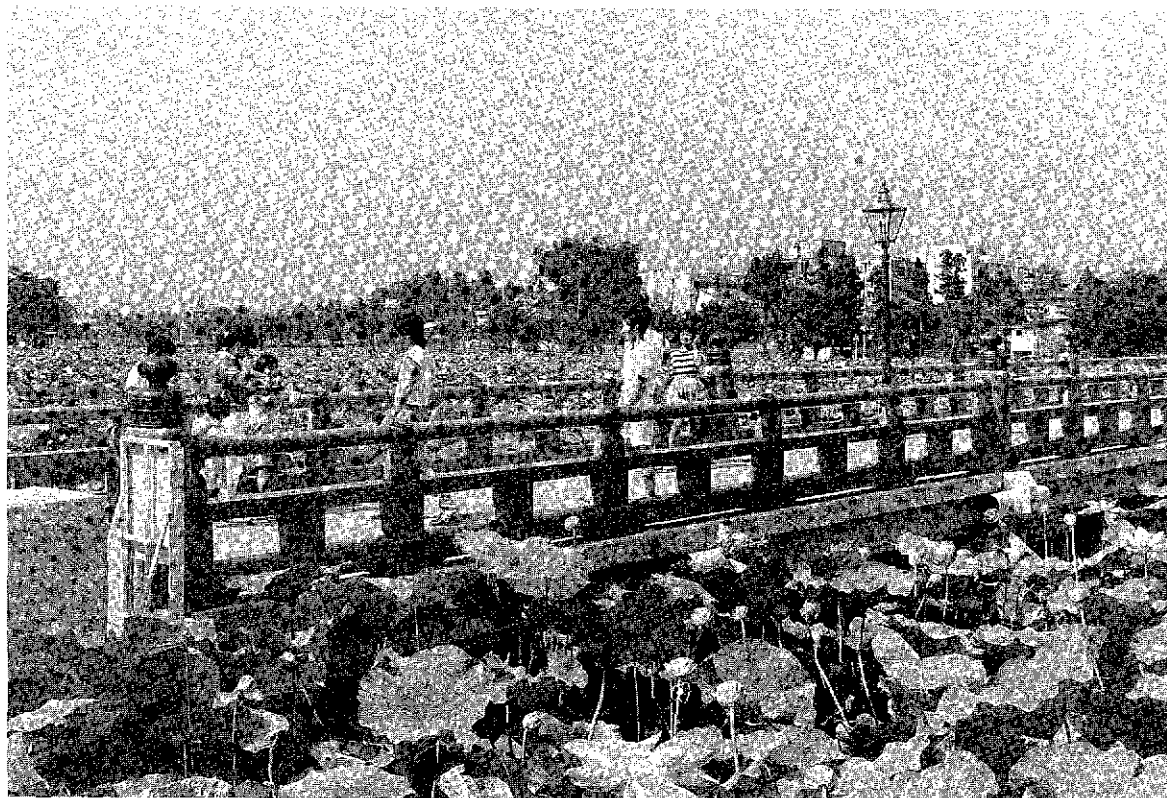
公民館月報

7月

第461号

シリーズ 県外の公民館に学ぶ (3)

明るい農業教室 常滑市南陵公民館



高田の春は爛漫と
古城を包む春がすみ
あゝこの地

我等が故郷

頸城平の緑を越えて

虹がかかるよ

妙高山に

高田の夏は爽涼と

日本海の波が呼ぶ

あゝこの地

我等が故郷

榊神社の森たそがれて

南菜の山に

半輪の月

「高田の四季」より

町田太郎作詞作曲

高田公園の日本一の蓮

写真提供 上越市立公民館

関ブロ実行委員会諸係一覧

準備着々と進む

関ブロ公研集会湯沢大会

九月五日六日の二日間... 本県公連主管で開催される... 関東甲信越静公民館研究会の準備が着々と進められている。分科会の発表者・司会者・助言者は十七分科会全部出そろい、発表者の原稿も提出されている。

また、本番のための役員・係員(次表参照)も全県的な態勢で協力を得ている。ちなみに、去る七月十二日には、これらの実行委員の総員が会場の湯沢カルチャーセンターに集まり、細部にわたる打ち合わせを行った。集会参加者については、県外

の人氣が高く、七百人(六月三十日現在)をこえ、当初の予想五百人を大巾に超えている。県内の参加者の出足は少々おくれられているが当初の予想は超える模様である。

Table with columns: 総務部, 部長 星野正平, and various staff names and titles.

Table with columns: 研究推進部, 部長 遠藤譲二, and various staff names and titles.

Table with columns: 分科会, 世話係, 記録係, and various staff names and titles.

Table with columns: 広報・編集部, 部長 田畑耕一, and various staff names and titles.

Table with columns: 宿泊・交流部, 部長 片桐潔, and various staff names and titles.

Table with columns: 事務局, 事務局長 上村捨二郎, and various staff names and titles.

公振連の活性化を探ぐる

連盟評議員会開催

去る六月二十一日(金)東京永田町の全国町村会館を会場に公民館振興市町村長連盟役員評議会が開催された。

公振連の活性化のために、その存否も含めた意見聴取が求められた会であった。出席役員は16名と少数ではあったが、この会のためにわざわざ上京したという九州・四国からの県代表もあり、極めて積極的な意見交換がなされた。

そもそも公振連は、昭和44年

公民館建設費の国庫補助増額運動のために、公民館を愛する全国の市町村長に呼びかけて誕生したものであった。昭和五十年代までは、目ざましい運動の成果をあげ、連盟の存在感を發揮したが、低成長時代の近年は、国庫補助の増額は頭打ちとなり、いきおい活動もマンネリズムのそしりを受けるようになった。このことについての対策樹

立にあったものである。

存続を前提としての、今後のあり方を検討すべき、という意見が多かったものの、中には、公民館連合会と一本化すべしという意見もあった。一本化とはいつてもどのような役割を果すのか必ずしも明確ではなかったことから十分な理解を得るには至らなかった。

結論として、今後更に十分な検討を加えること、英知を集めよりよい方向を見出し、提案できるとしつたいという服部会長の回答を了解して散会した。

辛 口

本誌五月 場をと提唱している社
号に齋藤良 会教育の分野でいまだ
子さんが 公民館長に女性の登
「運営委員 用がないというのはい
にもっと女 かがなものであろうか。
性を！」と 北九州市に女性の地
言われまし 区公民館長がいる。館
たが、私は

女性館長の登用を望む

大野一伊

女性の公民館長を望む
たい。
女性の社会進出を推
進し、能力を發揮する

長になる前は市の職員
でもなく、教員でもな
い主婦だったのであ
る。少し付け加えれば
地域活動型主婦であつ
た。任期の三年間は、
市職員として正規の扱

にした」と。
なんと羨ましいこと
か。
地域に密着して生き
てきた女性だからこそ
できる企画がある。例
えば、老人問題、女性問

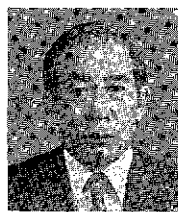
題から子育ての相談に
いたるまで地域のニ
ズにあった独自の企画
が持たれるだろう。
女性たちが望んでい
た生活に役立つセミ
ナーを地域でという声
にびつたり合致する。
新潟県は、女性に公
民館運営をまかせるし
なやかさが持たないもの
だろうか。
ぜひ女性の公民館長
の誕生を望みたい。
(新潟県婦人
国内研修者の会会長)

市職員として正規の扱

えば、老人問題、女性問

このごろ思うこと

齋藤吉信



ヨーロッパ
への旅行か
ら帰国した
その日に、
上野の繁華
街で尻ポ
ケットに財布をつっこんで
歩いている若者の姿が目
付いた。なぜかその身じま
いに、安らぎと誇らしさを
見たから不思議だ。外国で
同行者の被害を目のあたり
にしてから、財布やパス
ポートの管理に神経を磨り
減らさざるを得なかった反
動だろうか。間断のない文
化刺激で感性が鋭くなった
からだろうか。

ひ ろ ば

古歌に「氣をとめて 見
ればこそあれ...花のいろ
いろ」と詠まれてある。身
近なところにも、氣をとめて見
たらけっこう美しい花があるだ
ろう。いろいろの可能性を秘め
た種子や芽の存在にも氣付くは
ず。願わくは、個や類の性質を
知り、現況をあたたくよみ取
りながら、適時適量の刺激を加
えることの出来るまなごや能力
を持ちたいと思う。
(新発田市公民館
運営審議委員)

「尻ポケ財布」でも心配の
ないような街の実現は夢の
中だけのものではあろうか。
近年、「古さと創生・古里
人づくり」などのイベント
がマスコミなどを賑わして
いる。でも、行政側だけが
張り切りすぎて、主人公で
ある住民を置き去りにした
り、いつまでも、受け身の
状態にしておこうでは心も
ない。行政側と市民、何よりも、
住民相互のこすり合いが、随時
随所にますます活発になること
を願いつつ庶を汚している。

公民館に学ぶ (3) が生まれるまで

南陵公民館

常滑市は愛知県知多半島中部にある人口五万六千人の市。近年企業進出が著るしいとはいっても、農漁業の性格の強い市である。

この市は、早くから生涯学習の推進に力を入れており、平成元年二年の2年間にわたり、生涯学習まちづくり推進事業の文部省指定事業に取り組んだ。

この南陵公民館は、常滑市の四地区公民館の一つ。多くの事業に積極的に取り組んでいるが、特に「農業教室」に特色がある。実践をとおして年一年と学習プログラムを改善して、より充実したものになっていることである。つまり、ローマは一日

にして成らず」のたとえのとおり、「親と子の農業教室」に端を発して、「たのしい農業教室」続いて「同パートII」へと発展している姿に興味を持ったのである。

解説と資料を提供してくれたのは同公民館の社会教育主事 井栄一氏である。

一、はじめに

常滑市とりわけ南陵公民館のある地域は、農漁業主体であり、人口はやや減少傾向を示している地域である。ここでも、ご多聞に漏れず兼業農家が多く、かつて「三ちゃん農業」と呼ばれた主役は今や「二ちゃん農業」つまり、ぢいちゃんばあちゃんに変わりつつある状況にある。

昭和57年4月に竣工オープンした南陵公民館では、生涯の各時期各年代に合わせた各種の学級や講座を開設してきた。中でも家庭教育に力を入れ、幼児・小学生・中学生を持つ親を対象に、それぞれの学級を開設している。昭和61年の11月、幼児家庭教育学級の反省会での一言が農業に関する教室を開設する引き金になったものである。

その反省会で「私はサラリーマンの家庭で育ち、この地へお嫁に来ました。この学級では、子育ての他にもいろいろなこと

を考えさせてくれました。わが家には少しばかりの田畑があります。現在は母が農作物を作っています。ゆくゆくは私が面倒を見なくてははいけないと思うと不安でたまりません。主人はサラリーマンで、あだんは家にいません。私は農業については全く知らないことばかりです。」

この一主婦の悩みは、多くの学級生の共通の悩みでもあった。そこで、さっそく市の農業水産課と相談すると、その課でも、後継者問題が大きな課題となっていたことから、公民館が開設する「農業教室」には協力を惜しまないという積極的な姿勢を示してくれた。

<表1> 昭和62年度 市民講座

親と子の農業講座

参加申込者 74名 延べ参加者608名

講座 毎月1回 土曜午後1:30~3:30

上段(○)は親、下段(●)は子どものプログラム

回	テーマ・内容	講師	期日
1	○フキ・タマネギ料理	農改生活担当	4月29日
	●野菜づくりのコツ	〃 〃 〃 担当	
2	○イチゴを使って	農改生活担当	5月23日
	●イチゴのもぎとり	〃 〃 〃 担当	
3	○じゃがいも・ヤングコーン料理	農改生活担当	6月13日
	●農機具のいろいろ	〃 〃 〃 担当	
4	○鶏肉・摘果みかんの料理	農改生活担当	7月25日
	●ミニトマトの定植	〃 〃 〃 担当	
5	○牛乳・夏野菜料理	農改生活担当	8月29日
	●キャベツ・白菜の種蒔き	〃 〃 〃 担当	
6	○豚肉料理	農改生活担当	9月19日
	●ブロッコリーの定植	〃 〃 〃 担当	
7	○米・大豆料理	農改生活担当	10月17日
	●イチゴの定植	〃 〃 〃 担当	
8	○イチジク・キウイフルーツ加工	農改生活担当	11月28日
	●たまねぎの定植	〃 〃 〃 担当	
9	○キャベツ・魚料理	農改生活担当	12月12日
	●酪農農家の見学	〃 〃 〃 担当	
10	○大根料理・みかんジャム	農改生活担当	1月23日
	●のり漁家の見学	〃 〃 〃 担当	
11	○のり料理	農改生活担当	2月27日
	●じゃがいもの定植	〃 〃 〃 担当	
12	○パーティ料理	農改生活担当	3月26日
	●反省会	〃 〃 〃 担当	

農業の技術に関することについては、農業改良普及所が、また、肥料・苗・種などの材料に担当してくれることになった。それらのすべての取りまとめは公民館が引き受けることになり、三人四脚で実施することになった。それが、昭和六十二年に開設された「親と子の農業教室」のスタートだった。

二、親と子の農業教室

一年間(月一回)にわたり、親は料理実習(地域でとれる野菜の活用方法を狙ったもの)、そ

れと同時に、子どもたちは家庭でできる野菜の作り方と農家の作業の实地見学ということが中心だった。

その狙いは、母親たちに料理の方法を知ることから、この地域でとれる野菜を知ってもらうことにあった。反面、子どもたちをたのしい次代の後継者と考えたのである。

親子で参加することになってくる(子どもは小学生四年から六年)のがたてまえだが、親のみの参加も認められたので実際は親の方が多かった。参加した母親たちは、この地域でとれる野菜の多いのに驚き、子どもたち

シリーズ 県外の 「明るい農業教室」

愛知県常滑市

なす等を定植し、管理ももちろん学級生自身で行うことにした。

当初の予定では、昨年の「親と子の農業教室」同様月1回のつもりだったが、草取り、追肥、整枝等の作業が次々あり、月2〜3回のペースになってしまったが、それでも十分に満足のいくものではなかった。しかし、七月にはミニトマトやなすの収穫を行い、初めて収穫のよろこびを味わうことができた。反面では、その後の長雨の影響で、カボチャ、スイカは全滅状態となり、自然の力の大きさや厳しさを知り、思い知らされた。これらのマイナス要素もまた大きな体験となったわけである。

は初めて持つ鋤との悪戦苦斗の体験をした。また、野菜についての規格外のものへの関心も高まり、消費や流通の段階での不合理な点などについても学習の過程で発見することができ、学習の成果は大きかった。

三、たのしい農業教室

公民館に隣接している共有地を区から借用し(250坪)とうもろこし、ミニトマト、ピーマン、

四、農業教室パートII

平成元年迎え、農業教室も三年目となると、これまでの体験的農業の学習から、自立採算のための本格的な農業としての学習へと発展し、新しい農業教室と取り組むことにした。それが「農業教室パートII」である。耕作面積をこれまでの二倍(五百坪)とし、本格的な野菜づくりと、農業の経済についても学習内容として取り入れることにした。

一人五千円を出しあい、肥料・種・苗等の代金に充てていくという試みであった。また、大量に作ったもの(収穫されたものは販売しよう……という計画だった。

都会のスーパーマーケットや食料品店等では無農薬で育てた野菜が多く出まわっており、この学級でも無農薬で育てたいという希望も多く、挑戦することにした。そして、真夏の炎天下に、トウモロコシの葉一枚一枚をチェックし、虫を手でとっていく作業を毎日しなければ育たない体験をしたとき、現在の農家がおかれている苦しみをよく味わうことができた。



子ども野菜づくり体験



楽しい農業教室

今その方向で学習内容を検討中である。

五、まとめ

この農業教室の運営のもう一つの特徴は「農業教室だより」を発行していることである。学習のあった日の一日の内容と次回の日時や内容を知らせる情報紙である。また、経理の詳細を報告する役割も持っている。各自五千円の経費の支出明細の報告とともに、農作業にどれだけの経費がかかるのかについての学習の一環である。

受講生のはほとんどは女性で30歳代から50歳代が主となりバランスよく集っていた。作業学習の成果としては、とうもろこし千八百本、大根白菜等五百個を販売し、収支はなんとかほとんど人にまでこぎつけることができた。

また、学習の狙いに、農業経済を考えることがあった。野菜はその時々々の天候によっていかに市場価格が左右されるかという点を、実体験の中で学ぶことができた。

この「パートII」の学習も好評裡に終了し、反省会では、来年度は、学習の狙いを「生産―加工―消費(販売)―」までを一貫して体験できる内容にしてほしいという要望が多く出された。

収穫祭という楽しいイベントも用意されている。それぞれの野菜の収穫の都度実施し、調理実習と抱き合わせの事業である。中でも庄巻は「そばづくり」である。八月下旬にそば(牡丹そばと信州そばの二種類)の種をまいて十月下旬には十料の実を収穫し、学級生が石うすを引いてそば粉を作り、手打ちそばを作るのである。

農業経験のない主婦をターゲットにして出発した「農業教室」は地域住民の関心を集め、今や南陵公民館の目玉事となり、近隣の公民館の注目を集めている。それというのも、地域に密着した事業として常に検討評価を加えより充実した事業へと努力している結果である。

百館百様

公民館と出雲の神様

男女共生時代の結婚観

はじめに

人が誕生し、成長していく過程の中で様々なドラマが繰り広げられる。夢多き恋もその一つであり、人生の新たなスタートとも言われる結婚もその一つであろう。結婚には甘い夢がある筈である。しかし、

現代では、女性の意識変化や男女のアンバランスなどにより、都市、農山村を問わず結婚問題は社会問題化している。特に、農業後継者の結婚対策については、どこの市町村でも抱えている大きな悩みとなっているのが現状である。

このような深刻な嫁不足対策として、当紫雲寺町では、昭和五十八年から「結婚相談員」制度を設置して、その問題解決のために鋭意努力を傾注しながら活動を続けているが思うような成果が上がらないのが実情である。そこで、この問題に公民館の関わる部分はないのか、と考え試行的に取り組んだのが次ぎの事業である。

公民館の取り組み

北蒲原郡の中部郷四か町村(豊浦村・聖籠村・加治川村・紫雲寺町)では、かねてから公民館が中心となっており、若い青年(男女半々)を対象に、団体生活を通じて縮活動の知識と技能を学び、

相互の親睦を深める中で、今後の活動に役立てることを狙った青年研修事業をすすめてきた。毎年二泊三日の宿泊研修で今年で二十二回目となる。

研修に参加した青年たちからは大変好評を博している。この研修の機会を活用して男女のカップルが、一組でも誕生してほしいものと期待してすすめている事業なのだがなかなか成婚までに結びつかないのが現状である。

いでは、女性の発言が活発なのに比して男性が寡黙で十分な意志の疎通が図れなかったようである。結果は私どもの期待が実現しないってしまったのだが、そこには重要な問題が潜んでいることが分かるのである。つまり、男性が単に話せばたゞ寡黙であったというだけではなく、女性の意識変革が高いことが大きな理由のように思われることである。

未婚女性の結婚観

このことについて、昭和六十二年四月の調査によれば、表1に見られるように未婚女性の結婚観が変わってきていることが分かる。先ごろまで叫ばれていた女性の結婚の条件として、「高身長・高学歴・高収入」のいわゆる「三高」はもう古いと言われており、三高時代から内面重視に移行しているようである。内面ハンサム、つまり、「人柄が第一」という考え方が変わってきているということができる。とはいつても「人柄」プラス「三高」という、男性にとっては極めて苛酷な、つまり警戒心な女性が増えていくことも事実である。

「自分」に自信を持った女性たちは、その外にもいろいろな条件を口々に言っているのも事実である。「仕事から疲れて帰

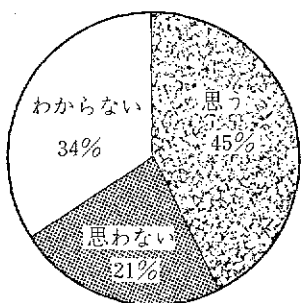
てくるなり、夕食の支度に取りかからなければならぬ生活なんて；「お金を貯めては、海外旅行に出掛けて今今の生活を失いたくない；「自由に使える小遣いがなくなる生活なんて；「仕事に生きがいを感じている今、この仕事を捨ててまで結婚しようとは思わない；「家庭は仕事の邪魔になる；」などなど様々である。

この外にも、男女双方には、晩婚化の傾向とか、経済的条件などの問題もあるが、「男社会」の中で生きる男性にとっては、女性はどう変わりつつあるのか、何を求めているかを理解する努力する必要がある。女性問題は男性問題である。といわれている時代に、男女相互の生き方を見直し、男女共生時代を生きる座標軸を創って行くことが急務である。

その意味から、公民館においても「結婚問題」を青年活動の一つとして捉え、これまで以上に広域的に交流の輪を広げるための、触れ合いの場を提供することと共に、男女共生の時代認識に対する学習の機会拡充などにたいして、全県下にこの運動のアンテナを立ち並ぶことを期待したい。

(紫雲寺町公民館長 鈴木庄太郎記)

〈表1〉 あなたは女性として “女は結婚して幸せをつかむものだ” と 思いますか。



20歳～30歳の女性 130人を対象にした調査結果 (昭和62年4月実施)

百館百様

鈴木庄太郎記

サークル交流

清らかな花が人気! チャリテイ園芸展 栄町「園芸愛好会」

公民館が開催している園芸教室の受講者でつくられた愛好会で、展示会を行なっております。春、秋年2回の展示会で会員が丹精こめて育てた山野草を持ち帰り一般の人からも楽しんでらおうと聞き、合わせて会員の提供によるチャリティー即売会を開催しております。

収益の全額を社会福祉に役立ててほしいと町の社会福祉協議会、あるいは青年育成町民会議



に寄付しております。

また、住民から親しまれている町民プラザの草取り奉仕作業も行なっております。この作業は早朝、午前五時三十分から行ない、草取りやごみ拾いのかたわら草の名も学習することをねらい、夏のすがすがしい時に行なっております。管理する町の産業課でも「皆さんのお陰できれいになり、利用される方の啓発活動になります」と喜んでもっております。

これからの会員の親睦はもちろん奉仕活動に取り組みたいと考えます。

(坂井 寧 記)

何か良いこと

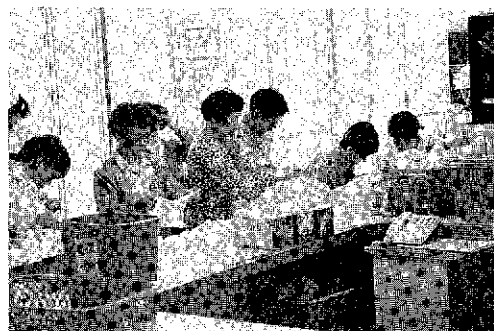
してみませんか

三条市嵐南公民館

ポランティアコース

当館には「嵐南子ども共和国」(会員数182名)、精神薄弱者の余暇活動協力のための「フレッシュ講座」(会員数60名)があり、各々年間15回程度活動しています。

近くにある三条高校のJRC(青少年赤十字)同好会と新潟中央短大の学生を中心とし、近



隣の五つの高校生からもポランティアとして協力してもらっています。

学生たちの要望もあり、今年度からポランティアコースを開設したところ現在90人が参加し、学生班とさわやか婦人班とに分かれて活動しています。公民館事業の他に、特別養護老人ホーム(長和園)へ施設ポランティアとして訪問し、おしめたため、シーツの交換、ガラス拭き、レクの手伝いなどで、よろこばれています。

まだ月一〜二回の試行の段階ですが、身障者などの施設も多く、これからはもっとも多くのポランティア活動を普及せねばと考えております。

(嵐南公民館内山信一記)

新井市公民館主事

金子卓也氏(29歳)



「たくちゃん」の愛称で親しまれている金子君は、この春から公民館に配属されたニューフェイス。人と接する機会の多いこの職場でも新人らしからぬ応対ぶりは、税務課、市民生活課で培われた行政マン七年の蓄積であろう。三つの市民大学講座、花いっぱい運動、家庭教育

アイディアが仕事に生かされて、とてもやりがいがありますよ」とは本人の弁。そのアイディアとルックスと若さは、特に婦人学級で人気を集め、出席率も上々とか。

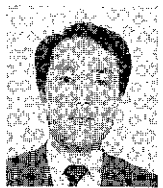
職場の宴席では、第二部の歌謡ショーの司会をかってでる彼。Eギターの腕は上越地方でも指折り、マイクを持ってば朝まで歌うその姿は正に「ミュージシャン」。軽いノリと緻密な仕事ぶりは、明日の公民館を支えてくれるであろう。

(新井市公民館大塚孝雄記)

素顔拜見

柿崎町公民館主事

島岡 聡氏(32歳)



公民館キャリア四年目にして数々の実績を挙げている。

昨年は国立社会研究所で四十日間の講習を受けて来て、ますます磨きがかかって来た。

まじめ、親切で骨身を惜しまず相談ののってやるタイプで、多勢の人の信用を得ている。登山を好み北アルプスの山々を踏破しているが、その意気で今後も躍進することを期待している。(執筆者所属柿崎町中央公民館 相沢 観司 記)

にいがた生涯学習フォーラム開催

8月31日上越文化会館で

県教育委員会では、今年度も「にいがた生涯学習フォーラム」を開催する。

会場 上越文化会館
対象 どなたでも結構です。
申込方法



講演などを通じて、生涯学習の意義や必要性をみんなで考えようというもの。一般参加者の自由参加も歓迎している。開催要項は次のとおりである。

主催 新潟県、県教育委員会、上越市、上越市教育委員会
期日 平成3年8月31日

(1) 一般参加者は申込みの必要なし。当日直接会場へ。
(2) 市町村関係者は、市町村教委で取りまとめ、8月5日までに所轄教育事務所社会教育課長あて申込む。
(3) 団体やグループ・サークル等は、まとまって参加の場合は、新潟市新光町四一、県生涯学習推進課長あて8月5日までに申込む。

大ホール	
受付 (玄関ホール)	9:30~10:00
(1)シンポジウム	10:00~12:00
「いま、自分をひらく」 人々が自分の持つ自分で気づかない能力を啓発、更に学習意欲を高め、充実した生涯学習社会実現のための方策や方向性を考える。	
〈シンポジウム〉	
浦田 弘氏 (富山県魚津市教育長)	
武田 美紀氏 (三和村産業おこし推進委員)	
渡辺 敏彦氏 (県専修学校各種学校協会会長)	
佐藤 英一氏 (上越市助役)	
〈コーディネーター〉	
吉川 弘氏 (横浜国立大学教授)	
〈チューター〉	
新井 郁男氏 (上越教育大学副学長)	
アトラクション	13:20~13:50
開会行事	14:00~14:30
(2)記念講演	14:30~16:00
「生涯学習と私たちの暮らし」	
講師 NHKアナウサー	後藤美代子氏
閉会行事	16:00~16:10

中ホール	
受付 (玄関ホール)	9:30~10:00
(3)生涯学習ボランティア講座	10:30~12:00
ボランティア活動を広く一般市民に啓発・促進するため講演会を開催する。	
「生涯学習社会におけるボランティア活動の今日的意義」	
講師	浜徳短期大学教授 木谷 宜 弘氏

まちからあろかろ

市町村の隠れた名所紹介のコーナーです。

【新潟市の巻2】
○東北電力は大川前五グリーンプラザ、万代四丁目新潟テレコムビル内のパレット、桃山町二の新潟火力発電所と東新潟火力発電所及び、はまなす館を公開しています。(電話二二三一一一五一一) お客さまサービス課小野塚さん)

○環日本海圏の日本側ターミナルとして、最近注目されているのが新潟国際空港。ハバロフスク、ソウル便のほかにもイルクーツク便も定期化が見込まれています。大阪、札幌、名古屋、仙台、佐渡の国内便も利用が増加しています。離着陸のようは屋上で見学できます。中学生以上一人百円。二十名以上だと八十円。(電話二七五一一二六一)新潟空港ターミナル株式会社)

○そのほか、おすすめしたいのが新潟国際空港。ハバロフスク、ソウル便のほかにもイルクーツク便も定期化が見込まれています。大阪、札幌、名古屋、仙台、佐渡の国内便も利用が増加しています。離着陸のようは屋上で見学できます。中学生以上一人百円。二十名以上だと八十円。(電話二七五一一二六一)新潟空港ターミナル株式会社)

「からくりの世界」への誘い

新潟県立自然科学館では、子どもたちの夏休み期間に当る7月25日から9月1日まで「からくりの世界」特別展を開催する。

料金 大人五百円、小中学生三百円、団体(20人以上) 大人四百円、小中学生二百円。



発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟 (025) 224-6073】

発行人 会長 木下 清
編集人 事務局長 上村 捨二郎
【定価1部 120円 年共 1,440円】

あとがき

◆ご承知のことと思いますが、国の生涯学習審議会(社会教育分科審議会施設部会)では「公民館の整備・運営の在り方について」答申されました。

◆新しい時代の公民館の在り方として多くの点をきめ細かに指摘しています。私ども公民館関係者が最も関心を持つ必要がありそうです。あらゆる研修の機会に掘り下げたいものです。(上村記)

(新潟市石山地区公民館長 笠原 記)